

めぐるいのち、つなぐまじごと

# 植物×匠

Plants and Crafts in the Cycles of Life

2025.10.11 sat-12.14 sun

竹中大工道具館 1Fホール

Takenaka Carpentry Tools Museum 1st Floor Hall

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

竹中大工道具館では、2025年10月11日(土)から12月14日(日)の会期で

「植物×匠 めぐるいのち、つなぐ手しごと」展を開催いたします。

スギやヒノキで柱を立て、ススキやヨシで屋根を葺き、イグサを編んだ畳の上で暮らす。

日本では、昔から身近な植物をうまく活用して住まいを築き、自然の恵みを生かしてきました。

本展では、日本の伝統的な木造建築を支える「植物」と「匠」の技に注目し、

それぞれを植物学と建築学の視点から読み解きます。

さらに、それらが循環する社会の中でどのような役割を果たしてきたのか、その知恵と工夫をご紹介します。

自然が育んだいのちを、人間の知恵によって繰り返し生かし続けていく。

そんな、丁寧で温かなものづくりの世界をどうぞお楽しみください。

この機会に貴紙誌にてぜひ記事としてお取り上げいただきたく、宜しく願い申し上げます。

謹白

2025年9月

公益財団法人竹中大工道具館





2 | 茅葺き

## 開催情報

名称	<b>植物×匠 めぐるいのち、つなぐ手しごと</b>
会期	2025年10月11日(土)~12月14日(日)
会場	竹中大工道具館 1F ホール
開館時間	9:30~16:30(入館は16:00まで)
休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日)
入館料	一般700円、大高校生・65歳以上の方500円、中学生以下無料(常設展示観覧料を含む)
主催	竹中大工道具館、伝統建築工匠の会
特別協力	国立科学博物館
協力	神宮司庁、日本伝統建築技術保存会、全国社寺等屋根工事技術保存会、文化財量技術保存会、日本茅葺き文化協会
補助	令和7年度日本博2.0事業(補助型)(独立行政法人日本芸術文化振興会/文化庁)
公式サイト	<a href="https://plantsandcrafts.doujukan.jp/">https://plantsandcrafts.doujukan.jp/</a>



展示総数: 約 90 点  
(植物標本 10 点、屋根構造模型 3 点、製作材料・道具ほか)



## 見どころ①

# 【建築学の視点】

### 大型模型で楽しむ木の建築

茅葺き・檜皮葺き・柿葺きの屋根模型を間近でご覧いただけます。

特に屋根模型は一部が構造模型になっており、葺き方の順番や仕組みがよくわかります。

細やかな職人の技にぜひご注目ください。



## 見どころ②

# 【植物学の視点】

### 建築に使われる植物たち

建築に用いられるスギ、ヒノキ、マツのほか、壁の下地や室内装飾に使われるタケ、天井材のガマ、畳のイグサ、茅葺きに使われるススキやヨシなど、多様な植物の姿をご紹介します。植物標本とともに、自然の中での生育環境や特徴もあわせてご覧ください。



4 | マツの植物標本



5 | ススキの植物標本

## 見どころ③

# 【職人の視点】

## 受け継がれる技と知恵

展示品とともに、実際に使われている材料や道具の実物、写真、映像を通して職人の繊細な技と知恵を紹介します。





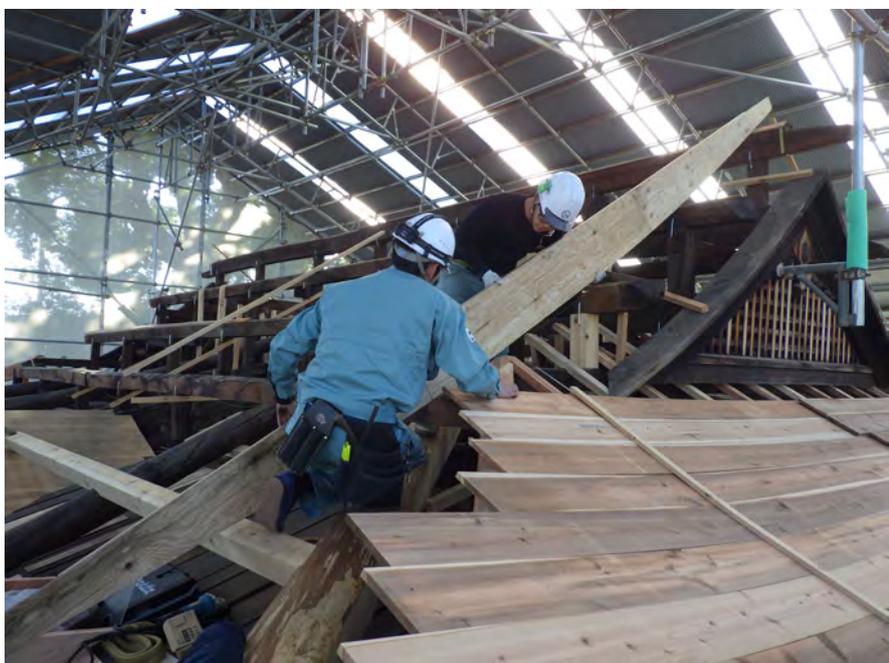
## 展示構成

# 1 組 む

(常設展示室内)

木と語り、  
技を尽くして組み上げる

苗を植え、下草を刈り、枝を払いながら、100年の時をかけて木を育てる。匠たちは木を刻み、削り、組むことで建築をつくりあげる。そこに宿る知恵と美意識を見つめます。



7 | 檜皮葺き構造模型

# 2 葺 く

(1F  
ホール)

植物を重ねて、  
風と雨に耐える屋根をつくる

樹皮を剥ぐ。茅を刈り取る。板を割る。乾かし、選び、束ね、丁寧に重ねてゆく。自然のかけらが、匠の手を通して、やがて屋根というかたちになる。重なり合う素材と技の軌跡をたどります。



### 3 編む

細くしなやかな素材に、暮らしのかたちを編み込む

タケ、イグサ、ガマ、マコモ。身の回りにある植物を刈り、編み上げることで、暮らしに必要な装置をつくりあげる。素材と技が織りなすやさしい造形の世界をご紹介します。

(常設展示室内)



### 4 つなぐ

人と人、都会と田舎、過去と未来

素材を受け継ぎ、手を動かし、思いを重ねることで、ものづくりの営みは続いてきた。戦後の急速な近代化や合理化の中で分断されていった関係を、いま、新たな時代にふさわしいかたちでつなぎ直す。私たちにできることは何か。植物とともに歩んできた知恵と技に耳を澄ませ、あらためて考えてみましょう。

(常設展示室内)



関連イベント ※状況により中止または変更になる場合があります。

## 1 講演会

### 「茅葺き職人と語る 里山と暮らしの循環」※WEB申込のみ

日時 2025年9月21日(日)13:30~15:00(13:00開場)  
聞き手 安藤邦廣(筑波大学名誉教授、工学博士)  
講師 駒宏樹(茅葺き職人・美山茅葺)  
大野沙織(茅葺き職人・茅葺き かぜおり)  
場所 竹中大工道具館1階多目的ホール  
参加費 無料(別途入館料が必要)  
定員 先着80名(事前申込制)

## 2 体験・実演

### 「檜皮を葺いてみよう」

日時 2025年10月25日(土)、26日(日)  
①10:00~12:00、②13:30~16:00  
講師 全国社寺等屋根工事技術保存会  
場所 竹中大工道具館特設会場  
参加費 無料(別途入館料が必要)  
申込 不要・随時受付



## 3 体験・実演

### 「畳のつくりかたを見てみよう」

日時 2025年11月8日(土)、9日(日)  
10:00~12:00 / 14:00~16:00の間のお好きな時間  
講師 文化財畳技術保存会  
場所 竹中大工道具館特設会場  
参加費 無料(別途入館料が必要)  
申込 不要・随時受付



## 4 体験・実演

### 「茅を葺いてみよう」

日時 2025年11月15日(土)、16日(日)  
①10:00~12:00、②13:30~16:00  
講師 日本茅葺き文化協会  
場所 竹中大工道具館特設会場  
参加費 500円(別途入館料が必要)  
定員 各回とも小学4年生以上20名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)  
※小学生は保護者とペアでの参加となります。  
申込締切 2025年10月24日(金)まで





## 関連イベント申込方法

ウェブサイトまたは往復はがき下記事項をご記入の上お申し込みください。

### 【ウェブサイト】

各イベントページよりお申し込みください。

○講演会「茅葺き職人と語る 里山と暮らしの循環」  
<https://www.dougukan.jp/event/lecture202509>



○体験・実演「茅を葺いてみよう」  
[https://www.dougukan.jp/event/thatch-workshop\\_202511](https://www.dougukan.jp/event/thatch-workshop_202511)



### 【はがき】※体験・実演のみ受付

[往信用裏面]①イベント名(ご希望日時も)②参加者氏名(フリガナ)③郵便番号・住所④電話番号⑤年齢⑥利き手  
[返信用表面]宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。裏面は未記入のこと。

[申込み先]〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館イベント係

※はがき1通につき1名様までお申し込みいただけます。 ※締切以降10日程で参加可の応募者には当選通知が届きます。

※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。

## 広報用画像

- 画像データ1~7(jpeg)をご提供いたします。
- 画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なされないください。
- 掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局までFAX送信ください。
- お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

- ・読者プレゼントとして本展図録5部または当館招待券ペア(2枚)5組を提供することができます。
- ・その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。

## お問い合わせ

「植物×匠」展広報事務局(竹中大工道具館内)

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1

TEL:078-242-0216 FAX:078-241-4713

E-mail: plantsandcrafts@dougukan.jp

## 当館のご案内



日本で唯一の大工道具の博物館「竹中大工道具館」は、大工道具を収集・保存し、研究や展示を通じて後世に伝えていくことを目的に設立されました。常設展は7つのコーナーに分かれており、唐招提寺金堂組物の実物大模型、五感に響くハンズオン展示などを通して大工道具の魅力をお伝えします。また博物館そのものが「匠の技の数々を肌で感じてもらえる場」となっており、建物の各所には大工や左官、瓦師などによる伝統の職人技をちりばめました。シンボリックで自己主張の強い建築ではなく、人と自然をやわらかくつなぐ存在としての「和」の建築を楽しんでいただければ幸いです。



### 《アクセス》

- 山陽新幹線「新神戸駅」中央改札口より徒歩約3分
- 市営地下鉄「新神戸駅」北出口2より徒歩約3分
- シティループ「12 新神戸駅前(1F)」下車徒歩約3分
- 神戸市バス2系統・18系統「熊内6丁目」下車徒歩約2分